

オートメーションヘルプのサンプルコードの利用方法

オートメーションヘルプでは、TimeTracker FX のオートメーションAPIを簡単にご利用いただくために、サンプルコードを掲載しています。TimeTracker FXの操作やデータの入出力を自動化するツールなどの作成時にご活用ください。

なお、ここではExcelのVBAを使ったサンプルコードのご利用方法を紹介します。

内容

[実績のエクスポート]を行うメソッド[GetActualTimeSummary]のサンプルコードを使って、特定のアカウントの実績工数をExcelに出力します。

用意するもの

1. TimeTracker FX 2.0以上
2. Microsoft Office Excel 2010/2007/2003
※本書ではExcel 2003を使用しています
3. TimeTracker FXのオートメーション ヘルプ

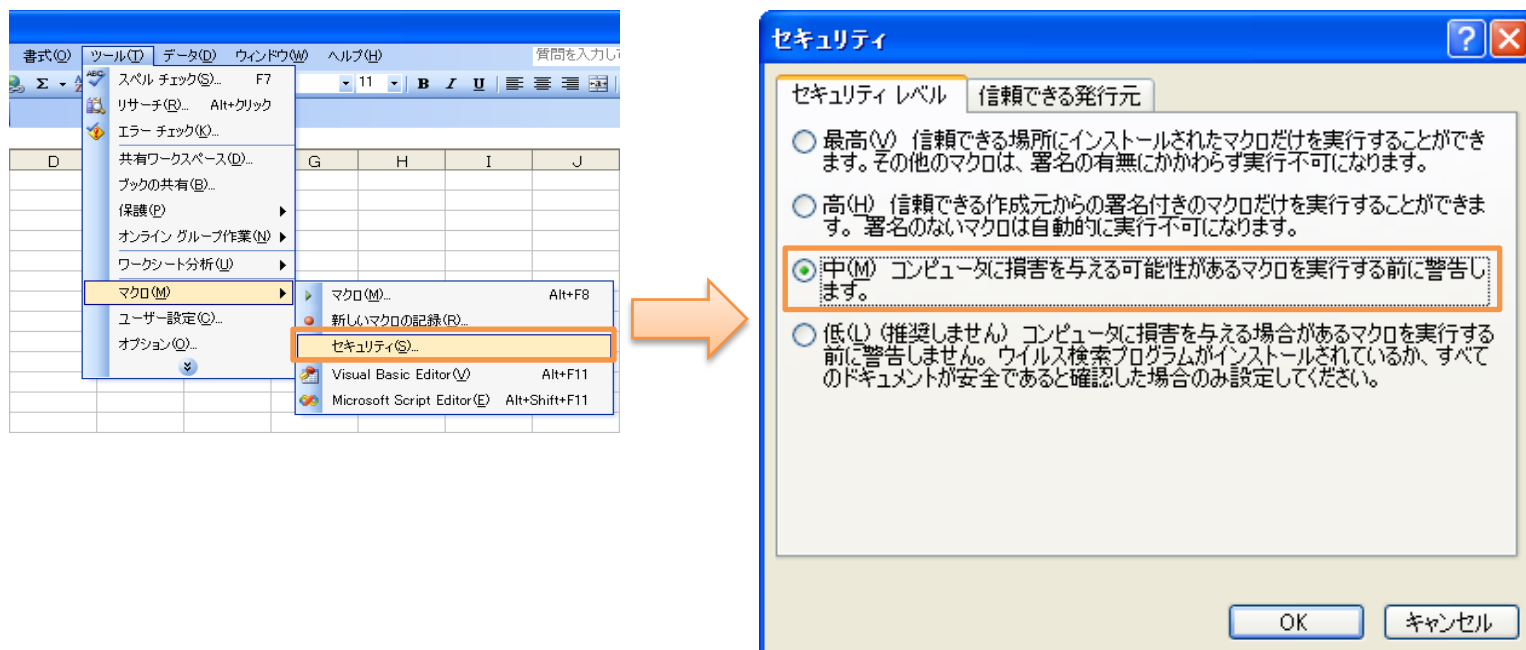
手順

サンプルコードを使った実績工数を出力する手順は、以下のとおりです。

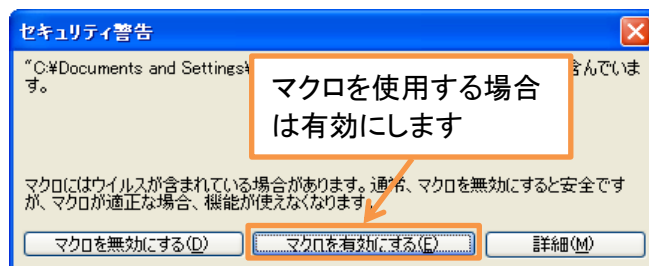
- 1) Excelの準備
- 2) 使用するサンプルコードを表示する
- 3) サンプルコードを元にマクロを作成する
- 4) 作成したマクロの実行する

1) Excelの準備

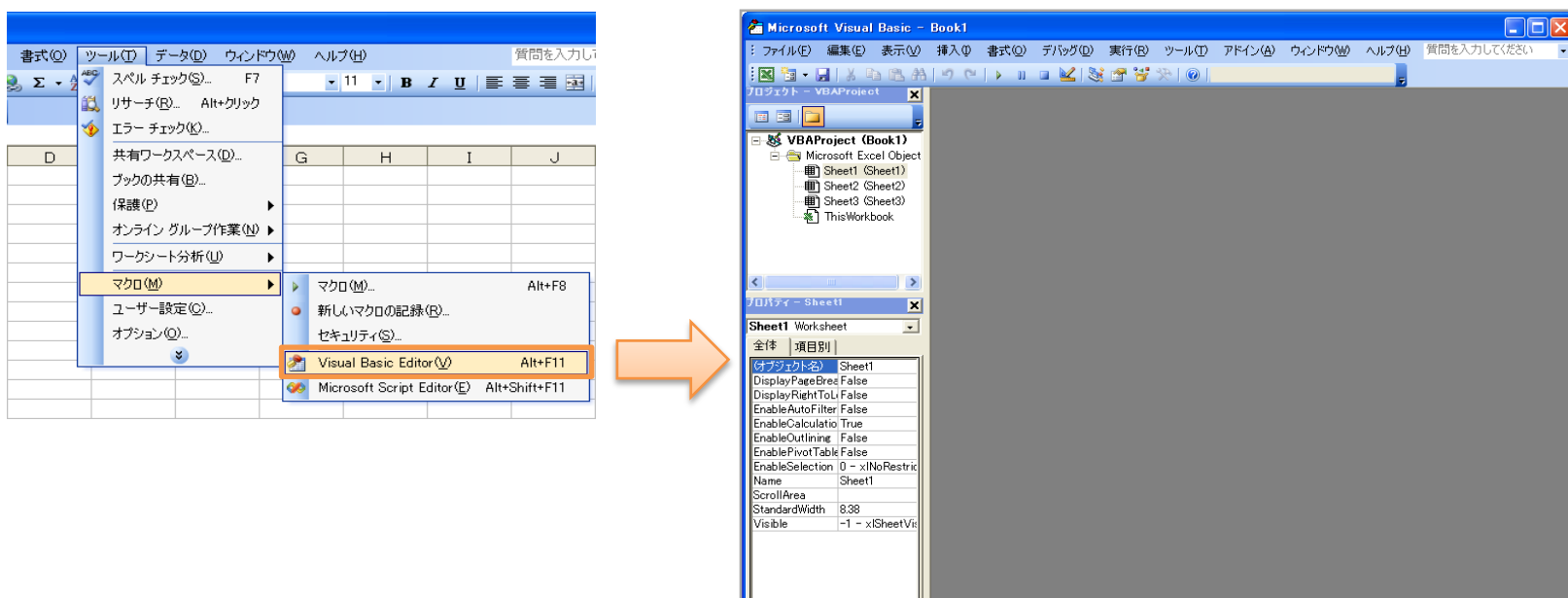
1. Excelを起動します。
2. マクロを有効にするために、セキュリティレベルを[中]に設定します。
 ⚠ セキュリティレベルを変更するため、事前にセキュリティ管理者様にご確認のうえ、ご対応ください。
 ⓘ 一度設定すると次回以降は設定不要です。



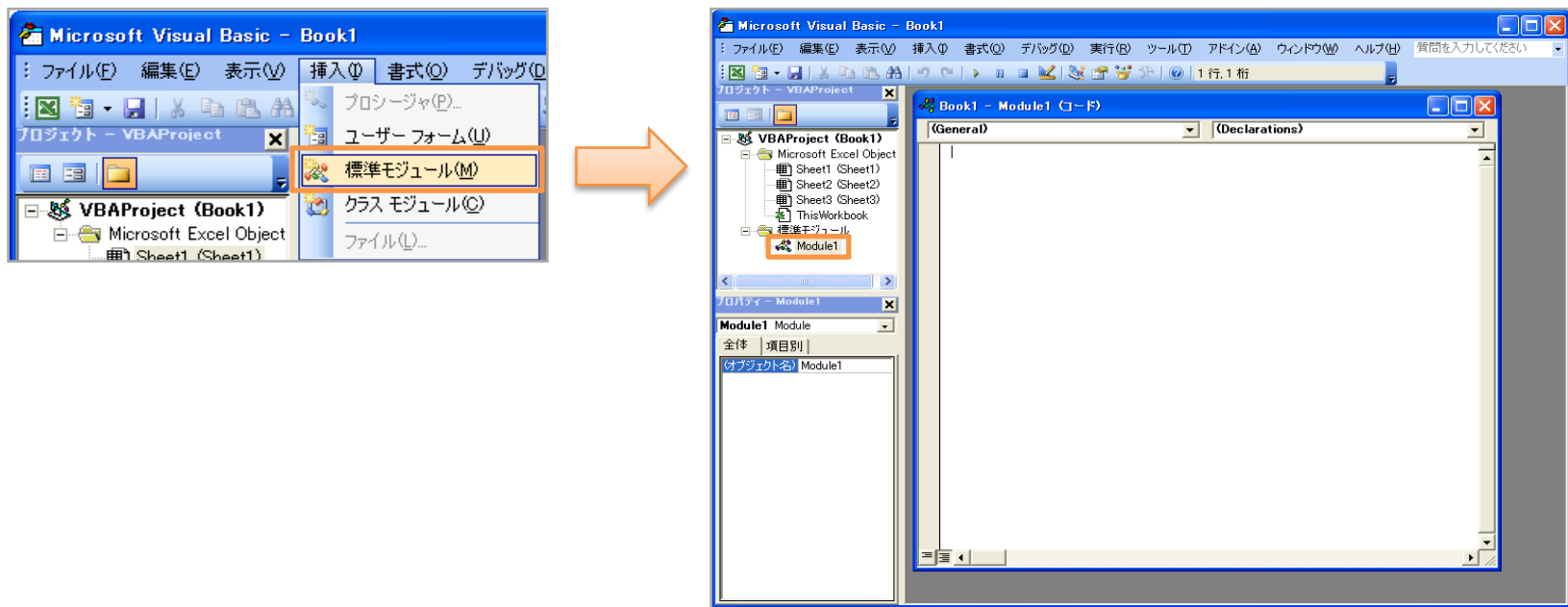
- ⓘ 設定変更後は、Excelの起動時に[セキュリティ警告]ダイアログが表示されるようになります。作成したマクロを使用する場合は、[マクロを有効にする]をクリックします。



3. VBAのコーディングツール[Visual Basic Editor]を起動します。

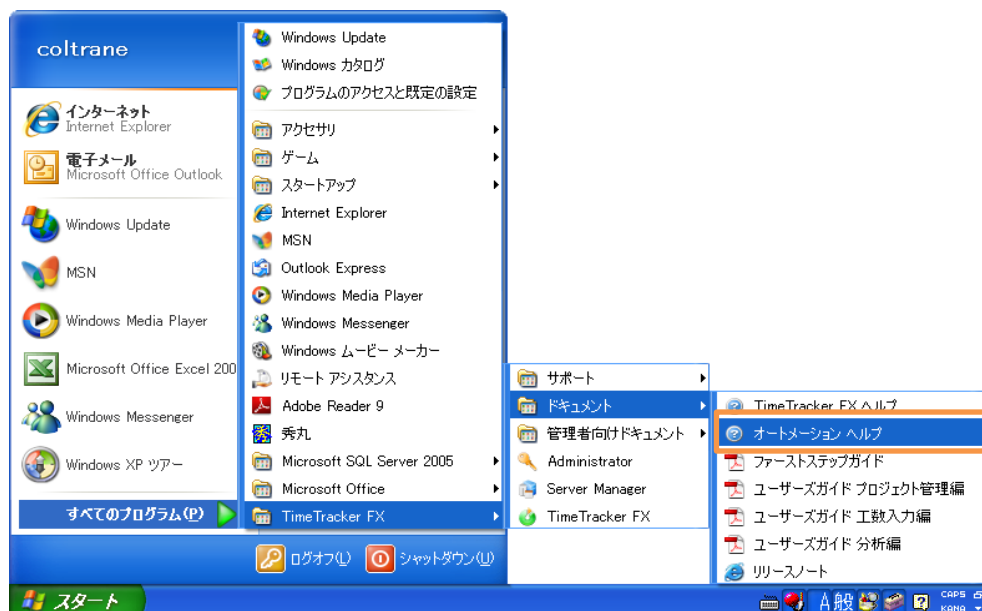


4. サンプルコードを記述する標準モジュール[Module1]を作成します。

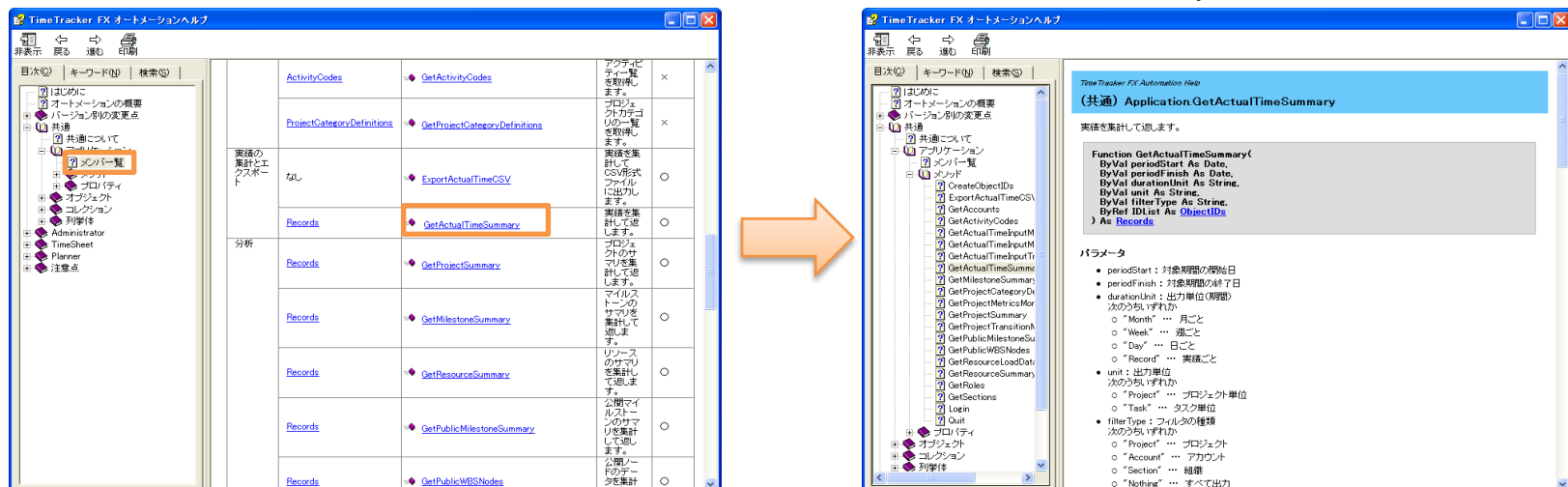


2) 使用するサンプルコードを表示する

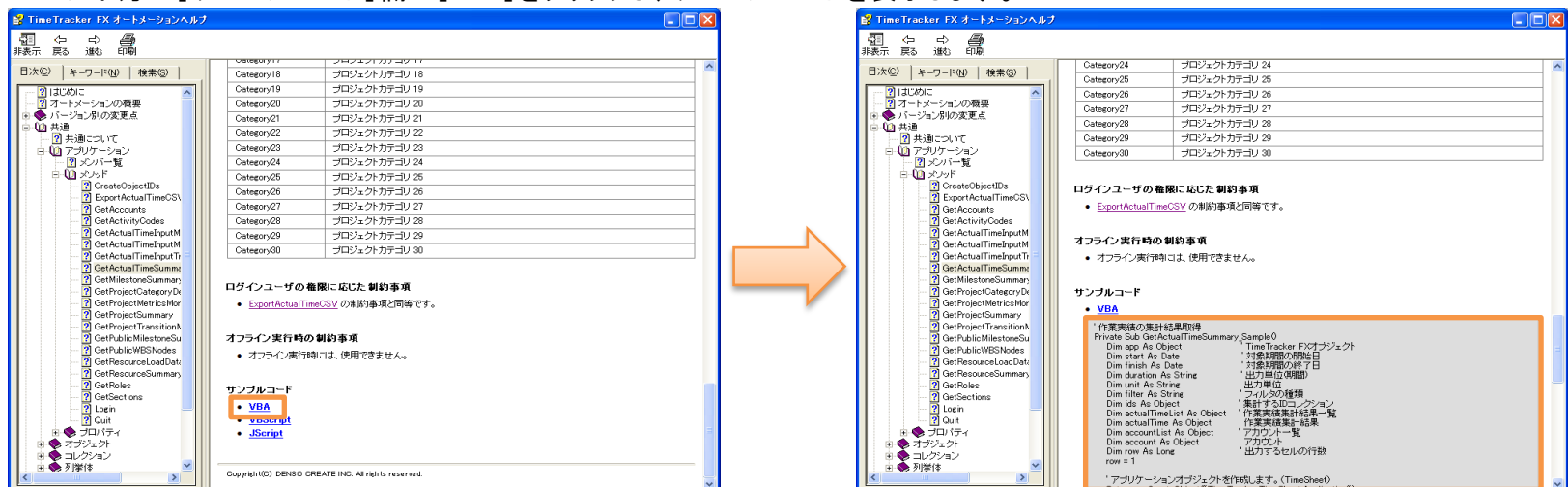
1. サンプルコードは、オートメーションヘルプに記載されているため、[スタート]から[オートメーション ヘルプ]を開きます。



2. [目次]の[共通]－[アプリケーション]－[メンバー一覧]から、使用するメソッド[GetActualTimeSummary]を選択します。

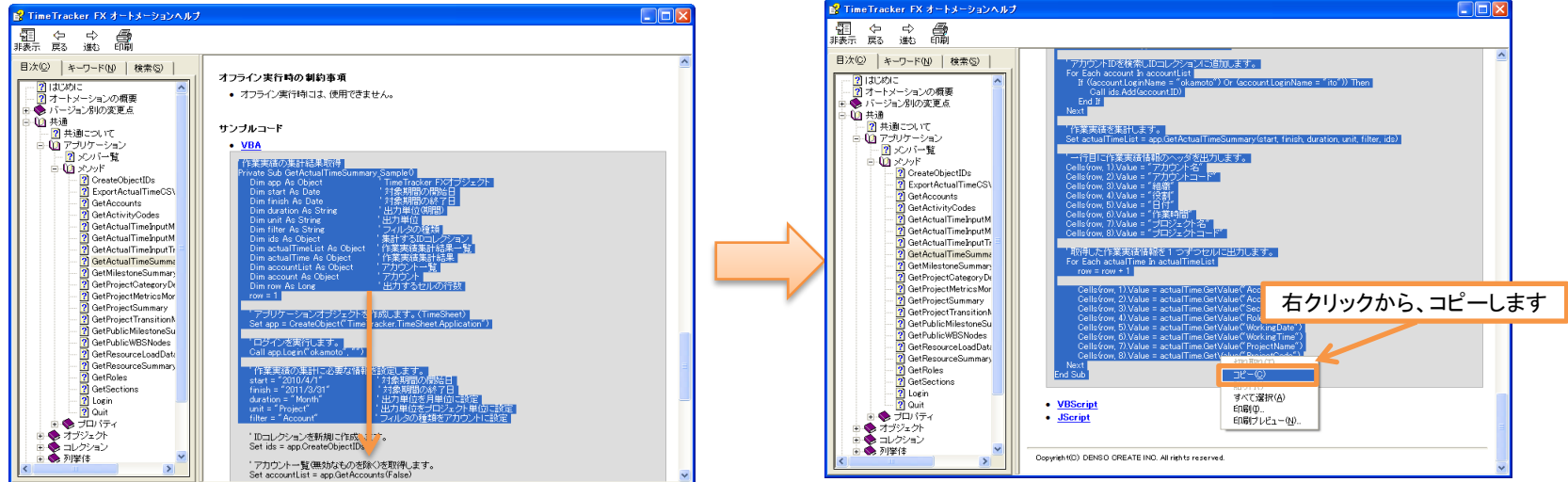


3. ページ下方の[サンプルコード]欄の[VBA]をクリックし、サンプルコードを表示します。

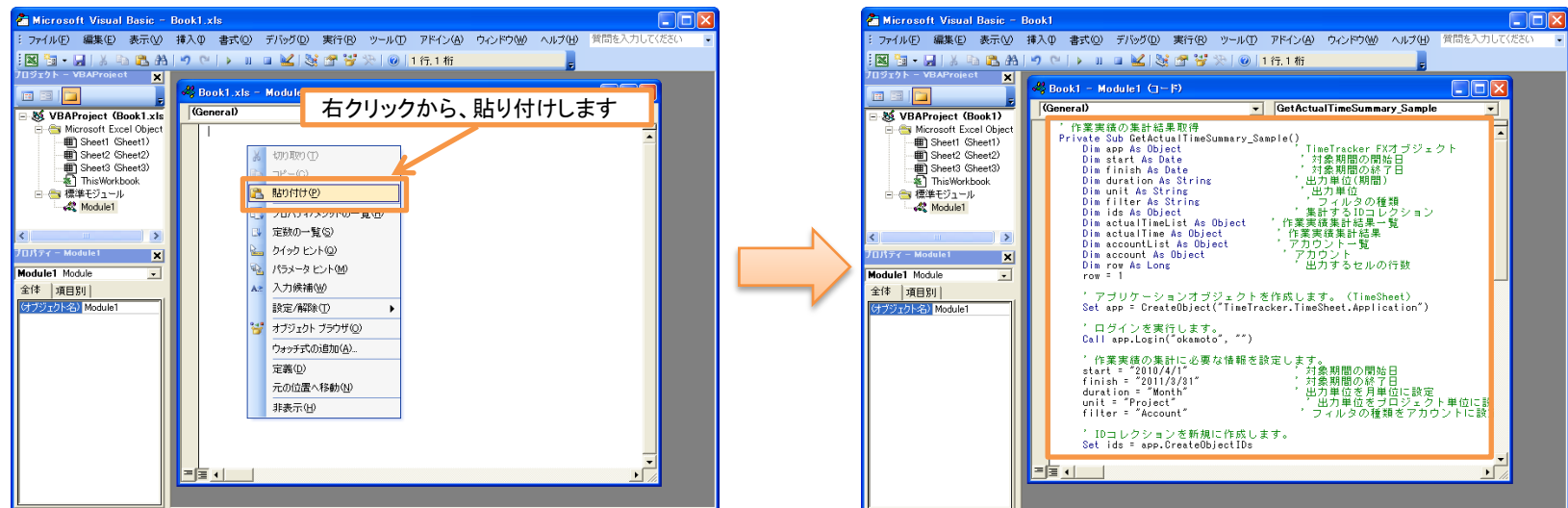


3) サンプルコードを元にマクロを作成する

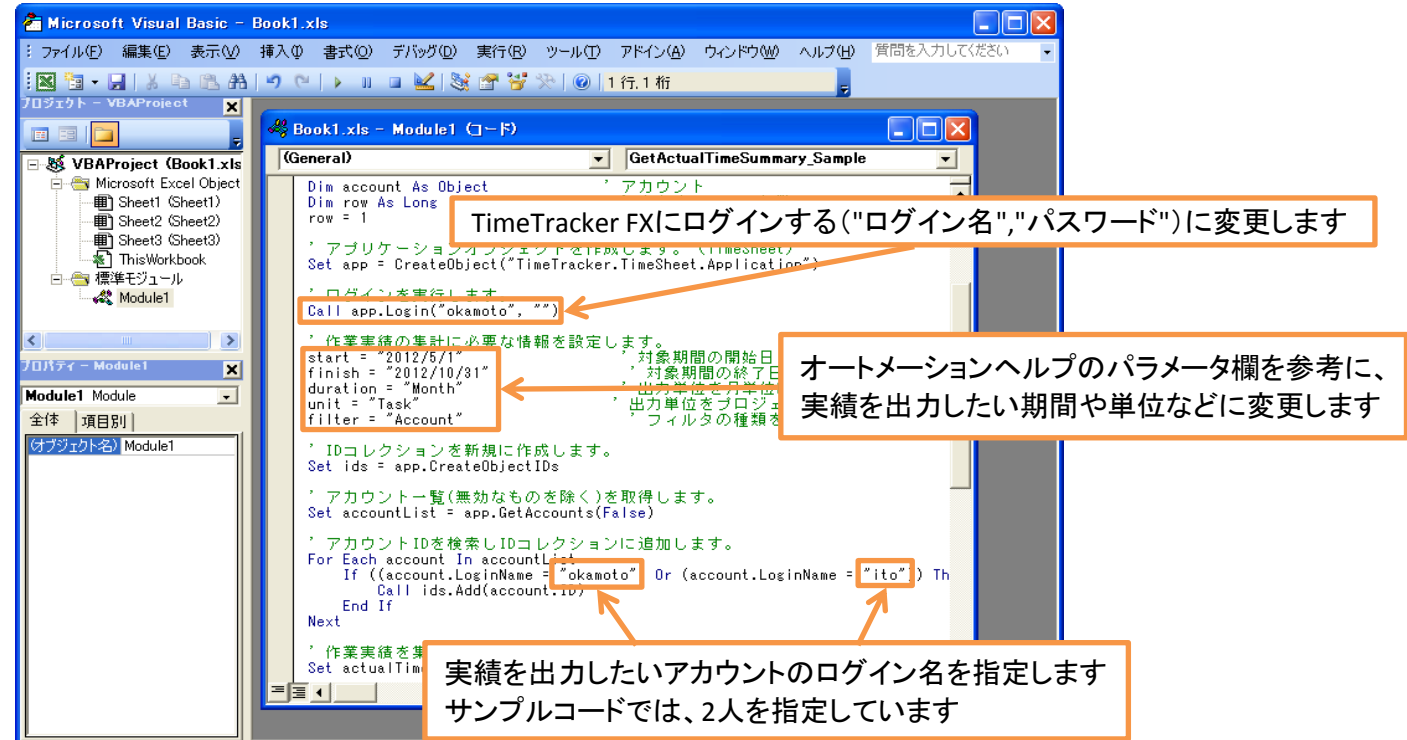
1. グレーのエリア内のサンプルコードを選択してコピーします。



2. サンプルコードを[Visual Basic Editor]の[Module1]に貼り付けます。

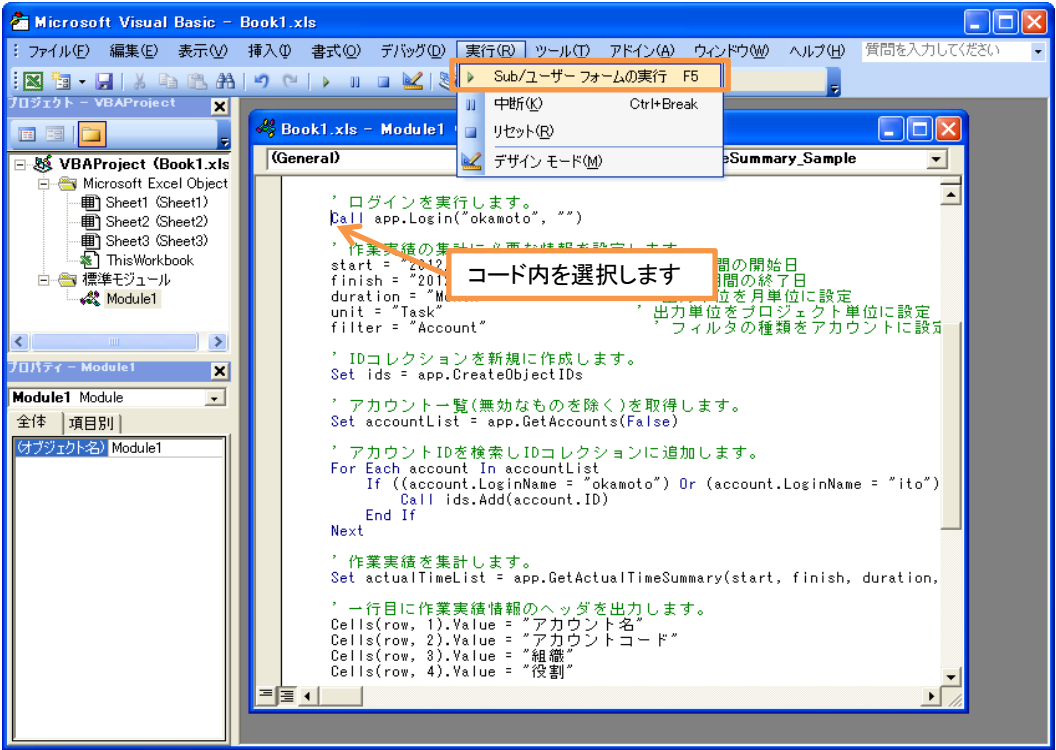


3. 必要に応じて、下図のようにサンプルコードを変更します。



4) 作成したマクロの実行する

- 1. TimeTracker FXが起動している場合は、閉じます。
- 2. [実行]－[Sub/ユーザー フォームの実行]をクリックします。
※コード内を選択してから実行してください。



- 3. TimeTracker FXが起動し、[実績のエクスポート]が行われ、Excelに実績が出力されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	アカウント	アカウント	組織	役割	日付	作業時間	プロジェクト	プロジェクト	コード		
2	岡本 直哉	8	開発1課	DB管理者	2012/5/1 0:00	108.5	Z機器試作	PRJ-901			
3	伊藤 博昭	10	営業1課	マネージャ	2012/5/1 0:00	98	Z機器試作	PRJ-901			
4	岡本 直哉	8	開発1課	DB管理者	2012/5/1 0:00	16	Z機器試作	PRJ-901			
5	伊藤 博昭	10	営業1課	マネージャ	2012/5/1 0:00	24	Z機器試作	PRJ-901			
6	岡本 直哉	8	開発1課	DB管理者	2012/5/1 0:00	14	Z機器試作	PRJ-901			
7	伊藤 博昭	10	営業1課	マネージャ	2012/5/1 0:00	14	Z機器試作	PRJ-901			
8	岡本 直哉	8	開発1課	DB管理者	2012/6/1 0:00	35	Z機器試作	PRJ-901			
9	伊藤 博昭	10	営業1課	マネージャ	2012/6/1 0:00	35	Z機器試作	PRJ-901			
10	岡本 直哉	8	開発1課	DB管理者	2012/6/1 0:00	112	Z機器試作	PRJ-901			
11	伊藤 博昭	10	営業1課	マネージャ	2012/6/1 0:00	112	Z機器試作	PRJ-901			
12	岡本 直哉	8	開発1課	DB管理者	2012/6/1 0:00	21	Z機器試作	PRJ-901			
13	伊藤 博昭	10	営業1課	マネージャ	2012/6/1 0:00	21	Z機器試作	PRJ-901			
14	岡本 直哉	8	開発1課	DB管理者	2012/7/1 0:00	35	Z機器試作	PRJ-901			
15	伊藤 博昭	10	営業1課	マネージャ	2012/7/1 0:00	35	Z機器試作	PRJ-901			
16	岡本 直哉	8	開発1課	DB管理者	2012/7/1 0:00	119	Z機器試作	PRJ-901			
17	伊藤 博昭	10	営業1課	マネージャ	2012/7/1 0:00	119	Z機器試作	PRJ-901			
18	岡本 直哉	8	開発1課	DB管理者	2012/7/1 0:00	22	Z機器試作	PRJ-901			
19	伊藤 博昭	10	営業1課	マネージャ	2012/7/1 0:00	22	Z機器試作	PRJ-901			
20	岡本 直哉	8	開発1課	DB管理者	2012/8/1 0:00	2	R商品開発	PRJ-001			
21	岡本 直哉	8	開発1課	DB管理者	2012/8/1 0:00	5	R商品開発	PRJ-001			
22	岡本 直哉	8	開発1課	DB管理者	2012/8/1 0:00	3	R商品開発	PRJ-001			
23	岡本 直哉	8	開発1課	DB管理者	2012/8/1 0:00	2.5	R商品開発	PRJ-001			
24	岡本 直哉	8	開発1課	DB管理者	2012/8/1 0:00	1	R商品開発	PRJ-001			
25	岡本 直哉	8	開発1課	DB管理者	2012/8/1 0:00	2.5	R商品開発	PRJ-001			
26	岡本 直哉	8	開発1課	DB管理者	2012/8/1 0:00	3.5	S機器の開	PRJ-002			